

事業概要【SUKUMO マイナンバーカード 市民カード化構想】

実施地域	高知県宿毛市	事業費	299,860千円
実施主体	高知県宿毛市、四万十市、高知大学、一般社団法人幡多医師会、パシフィックメディカル、NTTコミュニケーションズ等	人口	19,183人（R4年12月1日現在）
事業概要	宿毛市において、保育園や交流施設、公共交通など、子どもから高齢者まで、マイナンバーカードを利用できるシーンを提供することで、全世代のマイナンバーカードの活用を促進、マイナンバーカードの市民カード化を行う。		

取組内容

①マイナンバーカードの活用

マイナンバーカード1枚で、保育園、多世代交流施設等公共施設や、イベントなどの様々な施設を利用可能とする。

利用シーン：

- ・保育園（園児の登降園カード）
- ・多世代交流施設（施設の利用券）
- ・公共交通（公共交通割引券）
- ・医療機関（共通診察券）
- ・各種イベント（地域交流イベント参加券）

②マイナンバーカードへのポイント付与

ポイントプラットフォームを構築することで、マイナンバーカードに地域ポイントを付与し、利用を促進する。

③地域独自のデータ活用プラットフォーム構築

マイナンバーカードによる、市民の各種施設、イベント等の利用履歴を蓄積できる仕組みを構築する。

また、蓄積したデータを可視化するとともに、他システムで蓄積した履歴データを取り込めるダッシュボードを整備する。

本プラットフォームは市民が自身の行動を確認するために利用するほか、行政がデータを活用する。



サービス概要 (1/6)

■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカードによる園児登降園等管理システム	事業費	36,630千円
ターゲット	宿毛市内保育園利用者		
展開エリア	高知県宿毛市		

サービス内容（事業分野：②住民サービス／⑤医療・福祉・子育て）

現在、宿毛市内の保育園では、園児の登降園管理などを手作業で行っており、共働き世代などが、祖父母等に送迎を頼んだ場合に、既に登降園ができていのかどうかの確認は、電話等で保育園に確認が必要である。

この課題を解決するために、登降園時に園児本人等がマイナンバーカードをリーダーにかざすことにより、園児の登降園が、リアルタイムに保護者のスマートフォンから確認できる仕組みを導入し、保護者の負担を減らすことで、より子育てしやすい環境を整える。

導入対象保育園：宿毛市立全保育園（山田保育園、平田保育園、小筑紫保育園、二ノ宮保育園、きぼうが丘保育園、おきのしま保育園）

Before

After



サービス概要 (2/6)

■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカードによる各種施設等利用サービス	事業費	54,780千円
ターゲット	宿毛市民および通勤・通学等を行っている人等		
展開エリア	高知県宿毛市		

サービス内容（事業分野：②住民サービス／⑤医療・福祉・子育て／⑥交通・物流）

現在、公共施設・公共交通の利用には、それぞれ、別のIDが紐付けられたカードを発行しており、利用者は複数のカードを所持、持ち歩く必要があるとともに、施設ごとに使い分ける必要があり、また、各施設の申し込みにおいても、それぞれ申込書に記載が必要である。

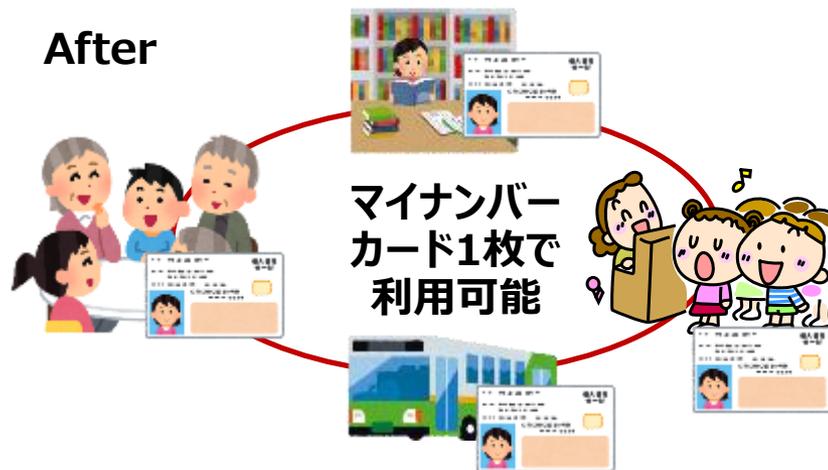
この課題について、マイナンバーカードの拡張領域に、宿毛市IDを払い出すことで、マイナンバーカード1枚で学生等が多く利用する図書館、公共交通を利用可能とするとともに、利用申請についても、最低限の記載等で申し込みができるサービスを提供することで、利用者の利便性を向上する。

導入対象施設、交通機関：隣保館（児童館）、地域子育て支援拠点、集会所、図書館、コミュニティバス、あったかふれあいセンター、避難所 等

Before



After



サービス概要 (3/6)

■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカードによる共通診察券サービス	事業費	104,170千円
ターゲット	医療機関や避難所施設、および当該施設にかかるすべての市民（患者）		
展開エリア	高知県宿毛市、四万十市		
サービス内容（事業分野：②住民サービス／⑤医療・福祉・子育て／⑨防災・防犯）			

【サービス内容】

宿毛市を含む幡多医療圏で活用されている地域医療ネットワーク「はたまるねっと」に参加の病院／診療所 22施設※¹（R5年2月時点）において、地域住民が、マイナンバーカードを施設共通の診察券として利用できるようにする。また、災害時には、共通診察券機能を有するマイナンバーカードを、避難所 12施設※²における所在登録・安否確認を行うための避難所カードとして利用できるようにする。 ※ 1・2：「サービス概要補足」にて具体を記載。

【市民の利点・裨益効果】

- ・ 疾患別で複数の医療機関にかかり複数の診察券を所有する市民において、各施設の診察券がマイナンバーカードに一元化されることで、管理の手間や忘れ・紛失のリスクを低減できる（マイナンバーカードに保険証登録があれば、さらに利便性が高まる）。
- ・ 避難所で、マイナンバーカード提示のみで所在登録・安否共有（家族への共有等）などができる。また、当該カードにて自分の医療情報開示もできるため、災害時、緊急時においてもより適切な受診／処置を受けることが可能。

Before



A病院



B診療所

多くの診察券を所持する必要



After



- ・ 医療情報開示
- ・ 避難所での所在登録・安否確認

共通診察券化で複数の医療関連カードを1枚に



電子カルテ

電子カルテネットワークとの連携で
避難所でも適切な医療を
受けることが可能

サービス概要（4/6）

■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカードによる市民ポイント付与サービス	事業費	33,990千円
ターゲット	宿毛市民		
展開エリア	高知県宿毛市		

サービス内容（事業分野：②住民サービス／⑩産業振興）

宿毛市においては、市民一律の地域振興券を配布するなどの施策を行ってきた経過があるが、一律の配布のため、市民の行動変容などを行うことができなかった。そこで、マイナンバーカードにポイントを付与する仕組みを構築することで、市民の健康増進活動等や、共助に関する取り組みなど、市民自身が行う「健康で住みやすい街にするための取り組み」を促進する活動にポイントを付与し、貯めたポイントに応じて景品を進呈することで、市民のお得感醸成と行動変容を促す。

導入ポイント付与サービス：

- ・運動など健康活動を行った市民へポイント進呈
- ・清掃などの地域貢献活動に参加する市民へポイント進呈

Before

地域振興券等
市民一律



After



市民の共助や健康行動へのポイント付与

お得感醸成と
行動変容促進

サービス概要 (5/6)

■ サービス内容

サービス名	マイナンバーカードによる証明書発行	事業費	14,190千円
ターゲット	宿毛市民（納税対象者）		
展開エリア	高知県宿毛市		

サービス内容（事業分野：①行政サービス／②住民サービス）

現在、宿毛市では、コンビニで「印鑑証明書」／「住民票の写し」をコンビニ交付サービスを利用して発行することができる。

今回、新たに、市民からの要望が多い課税証明書等をコンビニ交付サービスに加えることにより、マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用数を増加させる。

市民は、証明書発行のために市役所を訪問する必要がなくなるほか、市役所の開庁時間にとらわれず交付サービスを受けることができ、また、行政職員にとっては、稼働の軽減となる。



既存で発行可能



新たに発行可能とする

取得できる
証明書を追加
→利用回数増加

証明書発行
カード



市内のコンビニエンスストア



サービス概要 (6/6)

■ サービス内容

サービス名	データ活用プラットフォームサービス	事業費	56,100千円
ターゲット	宿毛市民、宿毛市役所、宿毛市内の事業者		
展開エリア	高知県宿毛市		

サービス内容（事業分野：①行政サービス／②住民サービス／⑤医療・福祉・子育て）

マイナンバーカードによる市民の公共施設の利用状況や、各種イベント等への参加データ利用履歴を蓄積する。

蓄積したデータについては、ダッシュボードを構築することで、市民自身が自身の行動履歴を把握できる仕組みとして、また自身の行動変容の経過を確認できる仕組みとして提供する。

あわせて、宿毛市ポータルアプリなど、他システムからのデータを取り込める仕組みを構築し、市民は、宿毛市の提供する様々なサービスの利用履歴を確認できるようになる。

本プラットフォームを利用し、様々な市民の行動データを活用できるようになるため、市民のデータを分析し、健康行動等を促進する政策決定を行うことができるようになり、マイナンバーカードを活用したEBPMを行うことができるようになる。

